

会長所信

昨年から猛威を振るった新型コロナウイルスは、今年に入っても未だ収束せず、昨年同様に緊急事態宣言下での年度始まりとなってしまいました。

改めて罹患された方をはじめ、そのご家族ご親族の方々には心からお見舞い申し上げますとともに、献身的に医療を支えていただいている関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

私は昨年度に引き続き本年度も茨木市 PTA 協議会の会長としての任を仰せつかりました。会員の皆様からのご承認をうけてお預かりする、1年という時間と会費を決して無駄にすることのないよう気を引き締めて役員会メンバーとともに進んで参りたいと思います。

さて、昨年度はコロナ禍に起因する数々の前例のない事態に PTA としても戸惑いと混乱がありました。私たち茨木市 PTA 協議会も、活動を停止するという選択肢もありましたが、やり方方法を工夫し、なんとか活動を継続する方法を模索し実行しました。その代表的な方法がオンライン会議を代表とした ICT の活用でした。コロナ対策だけに留まらず、参加しやすい PTA に繋がるこれらの活用により、ほぼ当初の計画通りの1年を終えることが出来ました。

そして今年度は、実施方法がほぼ確立できた会場とオンラインとを結ぶハイブリット会議をベースに、新しい取り組みである市 P 大会のハイブリット開催や、オンライン講演会の拡充などより参加しやすい PTA にむけて取り組んでまいります。また、単位 PTA において ICT を活用したリモート PTA の導入を検討される場合のサポートに対応できる体勢づくりも進めてまいります。また一方で、現在制作途上の単位 PTA 役員向け小冊子「PTA の概要(仮称)」の発行や、活動内容を会員の皆様に報告する広報紙「しい〜びい〜通信」の発行など、誰もが手に取れる紙ベースの利点を活かした情報発信にも努めてまいります。

私は、茨木市 PTA 協議会と茨木市教育委員会とは相互協力関係にあると思っています。今年度はこの考えに基づき、更なる情報と目的の共有に努めてより一層の協働関係を築いていきたいと考えています。

今年度は、いつ終わるとも知れないコロナ禍の影響に引き続き対応するため、市の提唱する安全指針に基づき状況を見ながら柔軟な活動を行い、方針の実現に向けた無理をしない安全で持続可能な PTA を目指してまいります。

以上

令和 3年 5月 吉日
令和3年度茨木市PTA協議会
会長 阪 和 也